

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表2000-516596

(P2000-516596A)

(43)公表日 平成12年12月12日(2000.12.12)

(51)Int.Cl.⁷
A 61 K 45/00
31/185
31/197
31/27
31/341

識別記号

F I
A 61 K 45/00
31/185
31/197
31/27
31/341

マークコード(参考)

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 191 頁) 最終頁に統く

(21)出願番号 特願平10-508988
(86) (22)出願日 平成9年7月24日(1997.7.24)
(85)翻訳文提出日 平成11年1月25日(1999.1.25)
(86)国際出願番号 PCT/US97/13013
(87)国際公開番号 WO98/04247
(87)国際公開日 平成10年2月5日(1998.2.5)
(31)優先権主張番号 60/022,890
(32)優先日 平成8年7月25日(1996.7.25)
(33)優先権主張国 米国(US)
(31)優先権主張番号 60/032,786
(32)優先日 平成8年12月6日(1996.12.6)
(33)優先権主張国 米国(US)

(71)出願人 バイオジエン, インコーポレイテッド
アメリカ合衆国 マサチューセッツ
02142, ケンブリッジ, ケンブリッジ セ
ンター 14
(72)発明者 ゼン, ゾングリ
アメリカ合衆国 マサチューセッツ
02173, レキシントン, マレット ロード
640
(72)発明者 エンシンガー, キャロル エル.
アメリカ合衆国 マサチューセッツ
01824, チェルムスフォード, ストーンゲ
ート ロード 76
(74)代理人 弁理士 清水 初志 (外1名)

最終頁に統く

(54)【発明の名称】 細胞接着インヒビター

(57)【要約】

本発明は、細胞接着および細胞接着媒介性の病理の阻害および予防に対して有用な新規の化合物に関する。本発明はまた、これらの化合物を含有する薬学的処方物ならびに細胞接着および細胞接着媒介性の病理の阻害および予防に対してこれらの化合物を使用する方法に関する。本発明の化合物および薬学的組成物は治療剤および予防剤として使用し得る。これらは特に多くの炎症および自己免疫疾患の処置に対して非常に適切である。